

表紙・目次・広告

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	177
発行年	2010-06
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00004478

アジ研

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

ワールド・トレンド

特集

ベトナム農業・農村の工業化・近代化

6

トレンド・レポート 湾岸の石油資源と外資の開発参入

—ペルシャ湾岸地域と欧米・中国

ベトナムと中国の国境問題—陸上での前進と海上における課題

2010
No.177

フォトエッセイ 『チベットの奥地、シャングリラの谷に住む少数民族』



1	巻頭エッセイ	ベトナム経済の工業化・国際化と農業農村	長 憲次
---	--------	---------------------	------

特集 ベトナム農業・農村の工業化・近代化

2	特集にあたって	坂田正三・辻 一成
4	ベトナム農村の工業化—紅河デルタ地域の工芸村の発展を中心に—	坂田正三
8	大規模私営農場の成長と農業近代化	荒神衣美
12	メコンデルタにおける農畜水複合経営の動向 —バイオガスダイジェスター導入農家の事例に基づく検討—	辻 一成
16	廃棄物からみたベトナム西北部農村の生活—ホアビン省の事例から	藤村美穂
20	ベトナムの青果物輸出と冷凍野菜流通	坂爪浩史
24	紅河デルタにおける青果物生産と流通の現段階	高梨子文恵
28	ベトナム北西部における契約農業のミクロ経済効果	西元寺慈子

32	フォトエッセイ	チベット奥地、シャングリラの谷に住む少数民族	角幡唯介
----	---------	------------------------	------

トレンド・レポート

36	湾岸の石油資源と外資の開発参入—ペルシャ湾岸地域と欧米・中国—	福田安志
42	ベトナムと中国の国境問題—陸上での前進と海上における課題—	寺本 実

46	連載	すぐに役立つ開発指標の話 第6回 交易条件	野上裕生
48		フィールドワーク心得帖 第3回 村を歩く	重富真一

異文化 言い分 EVEN

50	南アフリカでのホームステイ	佐藤千鶴子
51	南京の新聞戦争	方 勇

新刊紹介

52	研究双書No.583『開発途上国と財政—歳入出、債務、ガバナンスにおける諸課題—』	柏原千英
53	アジ研選書No.22『メコン地域 国境経済をみる』	石田正美

54	レファレンス・コーナー	翻訳書で知る東南アジアの農村	高橋宗生
----	-------------	----------------	------

55	アジア各国・地域 経済統計	研究情報システム課 中国／香港／台湾／韓国／タイ／シンガポール／マレーシア／インドネシア／フィリピン／ ベトナム／ミャンマー／インド／カンボジア／ラオス
----	---------------	--

60	アジ研だより
----	--------

表紙写真：外国資本（台湾）により運営された茶園（ベトナム、ソンラ省モクチャウ県、撮影：西元寺慈子）

本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

▶『発展途上国研究奨励賞・優秀論文賞受賞作品50年の回顧』資料展

アジア経済研究所は発展途上国研究を促進する目的で、優秀な研究成果に対し発展途上国研究奨励賞、優秀論文賞などの賞を授与してきました。これらの賞の受賞作品の変遷は、1960年代から2010年まで、どのような途上国研究の成果に脚光があてられたかを示しており、一面において我国の途上国研究の発展を反映しているといえるでしょう。それらの受賞作品と各著者の研究業績の紹介を行う本資料展を企画しました。受賞作と受賞者の主要著作を実際に手に取っていただき、途上国研究の流れと広がりを感じていただきたいと思います。

期間：7月1日（木）～7月29日（木）

場所：アジア経済研究所図書館1階

展示物：①受賞図書・論文：85点

②受賞者の著作 約300点

③選考委員長の選定理由、受賞者の言葉をパネル化して展示。

また、開催中、地域専門のライブラリアンが受賞作と受賞者の著作に関連したレファレンスに対応いたします。

ちなみに、過去の受賞者でアジ研図書館の蔵書数の多いのは末廣昭氏、小島麗逸氏、安田信之氏、山内昌之氏、細野昭雄氏の順になります。

▶第31回「発展途上国研究奨励賞」授賞式および記念講演会の開催

2009年に刊行された研究書、論文のうちから最優秀作品を研究所内及び審査委員会の選考を経て、決定。7月1日に授賞式、受賞者による記念講演を行います。場所、時間など詳細はウェブサイトでご案内いたします。

▶成長するアフリカ企業をウェブで紹介

http://www.ide.go.jp/Japanese/Data/Africa_file/

アジ研ウェブサイトにて、急成長を遂げているアフリカ企業をリストアップし、先進的アフリカビジネスの具体的な姿をお伝えしています。次の国および業種別に企業レポートを公開。レポートでは各企業を、その概要・沿革、所在地、製品・サービス、従業員数、財務情報、市場シェア、事業目的、ビジネスモデル、株主・所有権益、政府との関係・社会貢献、製品開発の項目により紹介しています。

この他に、「CSRレポート」、「BOPレポート」を合わせて掲載。



アフリカ成長企業ファイル ギニアのページ

【対象国】 アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エチオピア、ギニア、ケニア、コートジボワール、ザンビア、スーダン、タンザニア、ナイジェリア、マダガスカル、マラウイ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア

【業種】 金融・保健・投資、不動産、流通・販売、製造業、食品・飲料・タバコ、建設・インフラストラクチャー、鉱業・エネルギー・資源、石油、運輸、通信、情報・広告・出版、医療、農林水産

▶海外からの来訪者

韓国＝Dr. Jyoung, Taik-Hwan (Director, Future Strategy Research Center)、他2名＝3月18日

中国＝薛力 (中国社会科学院世界政治研究所国際戦略研究室研究員)＝3月16日

▶夏期公開講座の開催のご案内

恒例の「アジ研夏期公開講座」を7月6日(火)から 東京JETRO本部で開催いたします。プログラム詳細は当研究所ウェブサイトでご案内中です。ふるってご参加いただけますようお願いいたします。

7月号特集の予告 「『英語の世紀』の地域研究」

日本における開発途上国の地域研究のスタイルは、近年、「英語での発信」の急速な浸透＝「地域研究の英語化」により大きな変化を迫られている。本特集では、その負の側面に光を当てる。「日本人が日本以外の国を研究して非現地語で発表をすることの意味は何か?」「そもそも『地域研究』とは何か?」を考えたい。

(7月15日刊行予定。タイトルは変更することがあります。)

アジ研ワールド・トレンド

第16巻第6号 通巻177号

2010年6月15日発行

編集・発行

日本貿易振興機構アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2
電話 043(299)9735 FAX 043(299)9736

ウェブサイト www.ide.go.jp

印刷

株式会社アイワード

個人会員入会のご案内

『アジ研ワールド・トレンド』の配付をはじめとする様々なサービスをご提供する個人会員制度がございます。年会費10,000円です。

サービス内容は以下のとおりです

- 「アジ研ワールド・トレンド」(月刊) 送付
- アジア経済研究所図書館資料貸出(登録が必要となります)
- アジア経済研究所出版物(単行書) 1点追加配付いたします
- 各種料金割引 例 出版物を直接ご注文のとき2割引でご購入できます(定期刊行物を除く)
- ファックスにて事前に講演会開催案内をご連絡いたします

詳細は<http://www.ide.go.jp/Japanese/Members>をご覧ください
お問い合わせ先 成果普及課 賛助会担当まで
Tel : 043-299-9536 e-mail : members@ide.go.jp

弊誌へのご意見、ご要望をお寄せ下さい。

FAX 043-299-9736 email : syuppan@ide.go.jp

アジア経済研究所 編

アジア動向年報 2010

アジア 22 国・地域の 2009 年の情勢について、「概況」、「国内政治」、「経済」、「対外関係」の項目により整理、分析。国・地域ごとに重要日誌、国家機構図・閣僚名簿等、主要統計を付す。主要トピックとして、ASEAN、アメリカとアジア、ロシアとアジアを取り上げる。

対象国・地域：韓国、朝鮮民主主義人民共和国、モンゴル、中国、台湾、ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、インドネシア、東ティモール、ミャンマー、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、パキスタン、アフガニスタン 2010 年 5 月 592p. 6,615 円（本体価格 6,300 円）

《農業・農村社会、ベトナムに関する出版物》

重富真一 編 **グローバル化と途上国の小農**

グローバル化で私たちの食卓は途上国の小農に結びついた。アジア、アフリカ、ラテンアメリカ農村での農業経営調査に基づいて、途上国農村から見たグローバル化の姿を描く。

3,780 円（本体価格 3,600 円）研究双書 No.560 2007 年

高根 務 著 **マラウイの小農—経済自由化とアフリカ農村**

農業に依存する東南部アフリカの国、マラウイ。「貧困」とされるこの国の農村の実態を、フィールドワークで得られた知見をもとに、詳細に明らかにする。

3,045 円（本体価格 2,900 円）研究双書 No.561 2007 年

水野正己・佐藤 寛 編 **開発と農村—農村開発論再考**

グローバリゼーションに巻き込まれる発展途上国の農村社会が直面する課題を、日本の農村社会開発の経験と照らし合わせつつ「生活」の視点から再整理する。

3,570 円（本体価格 3,400 円）研究双書 No.569 2008 年

西川芳昭・吉田栄一 編 **地域の振興—制度構築の多様性と課題—**

地域興し運動では地元のイニシアチブが重要であるが、同時に外部者の関わり具合が成否の鍵となる。外部者が積極的に関わった各地の運動で、その成果はどう現れたのか。

3,465 円（本体価格 3,300 円）研究双書 No.578 2009 年

児玉由佳 編 **現代アフリカ農村と公共圏**

1980 年代以降、経済自由化や民主化によって、サブサハラ・アフリカの農村は大きく変容しつつある。詳細な現地調査に基づいて、農村の社会変容を公共圏の視点から読み解く。

3,990 円（本体価格 3,800 円）研究双書 No.581 2009 年

池上彰英・寶劔久俊 編 **中国農村改革と農業産業化**

中国のアキレス腱と言われる「三農問題」。しかし農村改革と農業産業化によって、農村部も大きく変化している。本書は一次資料と現地調査からその実態を解き明かす。

3,465 円（本体価格 3,300 円）アジ研選書 No.18 2009 年

重富真一・久保研介・塚田和也 著 **アジア・コメ輸出大国と世界食料危機—タイ・ベトナム・インドの戦略—**

食料危機克服のカギを握るアジア・コメ輸出大国を解剖

1,155 円（本体価格 1,100 円）情勢分析レポート No.12 2009 年

藤田麻衣 編 **移行期ベトナムの産業変容—地場企業主導による発展の諸相—**

ドイモイ開始から 20 年を経て、多様な産業が勃興しつつあるベトナム。産業・産地の事例研究を通じて、地場企業に牽引された産業発展の過程と課題に迫る。

3,150 円（本体価格 3,000 円）研究双書 No.552 2006 年

天川直子 編 **後発 ASEAN 諸国の工業化—CLMV 諸国の経験と展望—**

1990 年代にアセアンに加盟した 4 カ国—カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム（CLMV 諸国）—の工業化の現状を解明し、展望した一冊。類書にない試み。

3,045 円（本体価格 2,900 円）研究双書 No.553 2006 年

佐藤百合・大原盛樹 編 **アジアの二輪車産業—地場企業の勃興と産業発展ダイナミズム—**

二輪車産業から、各国地場企業の能力形成の特色が浮かび上がる。7 カ国・地域での企業調査をもとに、二輪車産業という切り口でアジアの産業発展を捉え直す。

4,515 円（本体価格 4,300 円）研究双書 No.554 2006 年

坂田正三 編 **2010 年に向けたベトナムの発展戦略—WTO 時代の新たな挑戦—**

WTO 加盟を控えたベトナムの新たな政治・経済の動きを追う。第 10 回党大会決議、投資法・企業法、WTO 加盟交渉経緯、ODA の動きなど、ベトナムの中期的な発展を展望する上で重要なイシューを概説。

1,575 円（本体価格 1,500 円）情勢分析レポート No.3 2006 年

坂田正三 編 **変容するベトナムの経済主体**

激変する経済・社会環境に戦略的に対応しながら生き残りや成長を模索するベトナムの経済主体。その姿を描き出すことを通して、ベトナムの経済発展の現状を再評価する。

3,780 円（本体価格 3,600 円）研究双書 No.579 2009 年

石田正美 編 **メコン地域 国境経済をみる**

ODA の重点対象地域となったメコン地域で、東西経済回廊や南北経済回廊などの主要な国境地域のヒトとモノの動き、国境経済特別区形成の現状をレポート！

5,985 円（本体価格 5,700 円）アジ研選書 No.22 2010 年



ベトナム、ティエンザン省カイベアの精米所（撮影：坂田正三）